

わろうて

～わかやまろうさい病院からのおてがみ～

2013年
8月15日
第37号
Vol.13 No.1

第11回女性医療フォーラム開催にあたり —働く女性が産みやすい、育てやすい環境を—



2010年の国勢調査の結果によりますと、日本の総人口は1億2805万7352人です。さらに、2011年には、2010年に比べて総人口は25万9000人減少しています。この人口の減少傾向は今後も続き、2030年には1億1522万人、2055年には1億人を切り、8993万人にまで減少するであろうとされています。2055年には、1年間に生まれる子どもは、なんと現在の半分以上の45万人となる一方、65歳以上の高齢化率は40%を超えると予測されています。このような世界に類を見ない超少子高齢化社会になりますと、国家が機能不全の状態になってしまうことは明らかであります。

現在、多くの職場への女性の進出がひろがってきていますが、全国の労災病院産婦人科外来を受診した患者様のアンケート調査によりますと、女性の72%就労しており、20歳代の女性の就労率は75%でありましたが、30歳代になると68%に減少し、40歳代に再び78%と増加し、50歳代70%、60歳代には43%と、女性の就労率は、先進国ではみられない、M字カーブを描いていることが再確認できました。働きながら、安心して出産・育児に専念できる社会環境、職場環境の整備、たとえば、24時間保育、病児保育といった子育てを支援する施設の充実などが、緊急の課題といえます。今までの政治や行政は高齢者に対しては手厚い施策を行ってきましたが、女性や子どもに対する社会保障は貧弱であったことは多いに反省すべきと思います。こうした社会構造では、女性が子どもを産まなくなるといえます。

和歌山労災病院では、働く女性健康研究センターと女性外来を設置し、政策医療の一分野として「働く女性のためのメディカル・ケア」研究を行っており、多くの知見が得られております。さらに、昨年、産婦人科に「助産外来」を開設し、助産師による妊婦健診、出産・育児の積極的な支援・相談を行っております。今回の第11回女性医療フォーラムが働く女性をとりまく厳しい環境の改善の一助となればと期待しております。

副院長・産婦人科部長・働く女性健康研究センター長 矢本 希夫



日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院

独立行政法人 労働者健康福祉機構

和歌山ろうさい病院

〒640-8505 和歌山市木ノ本93-1 TEL.073-451-3181(代)

FAX.073-452-7171(代)・073-451-3788
(医療連携センター専用FAX)

ホームページ <http://www.wakayamah.rofuku.go.jp/> E-mail info@wakayamah.rofuku.go.jp

和歌山労災病院の理念

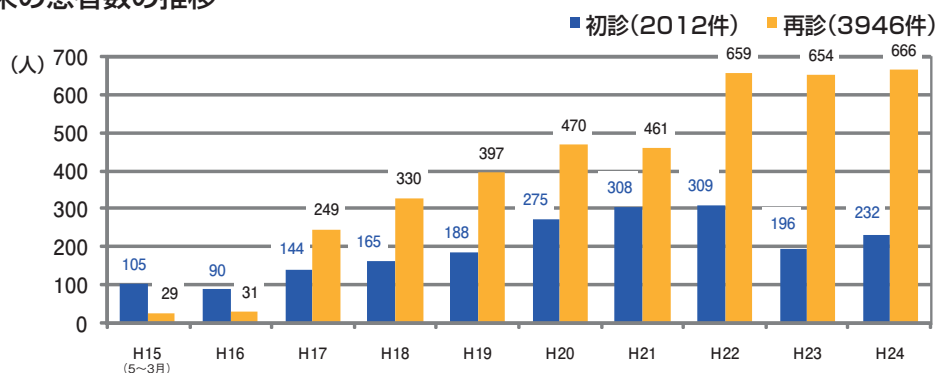
地域の人々と勤労者に、地域医療機関と密接に連携しつつ、安全に十分配慮した先端的医療を提供する

女性専用外来と働く女性研究

女性外来10年の歩み

女性外来が平成15年に開設され、10年を迎えました。当初、女性の疾病の早期発見を目的として、初診専用外来としてスタートしましたが、平成より漢方外来を開始し、継続治療が必要なため、再診も開始しました。その後、産婦人科女性医師の赴任、非常勤の先生方の協力を得て、産婦人科・乳腺肛門外科の開設、漢方外来の拡充を行い、年間約900名の受診があります（図1）。また、短期間ではありましたが、和歌山県立医科大学から応援頂き、心療内科、泌尿器科開設することができました。この2科は予約状況から考えても、大変人気があり、機会があれば再開したいと考えています。

図1. 女性外来の患者数の推移



労災疾病など13分野研究—働く女性のためのメディカル・ケア—

第1期（平成15年度から20年度）では「女性外来のモデルシステムを作る」をテーマに女性外来受診者にアンケートを行いました。その結果、受診者の約6割が受診契機にストレスが関与し、仕事関連が6割を占めました。

そこで第2期（平成21年度から25年度）はストレスの測定に取り組みました。ストレスの測定には質問紙、血液・唾液などの検体検査、心電図などの生理学的検査があります。今回は生理学的検査の中で、加速度脈波を用いました。安静座位で3分測定し（図2）、周波数解析により、交感神経と副交感神経のバランスを測定しストレスの有無を検証します。

女性外来受診者では加速度脈波で異常者が24%と対照群15%に対して多く、交感神経優位な状態でした。今後、健康診断などでストレスの早期発見に繋がりたいと思います。

図2. 加速度脈波の測定

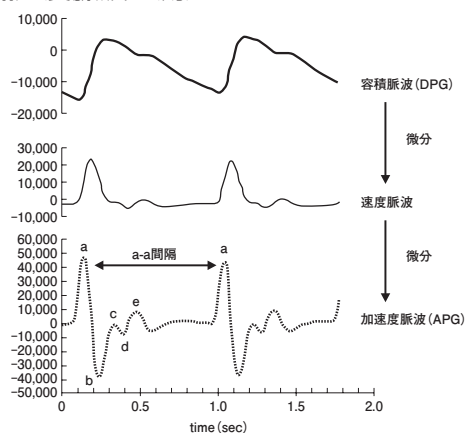


図1 指尖容積脈波(DPG)と加速度脈波(APG)

DPGの二次微分がAPGとなる。微分操作により基線の明瞭化と安定化と、a～e波の明瞭なピークが得られる。
 (医学の歩み Vol.228 No.6 p647 より引用)



- ・心電図のR-R間隔の周波数解析より、0.15Hzまでの低周波数成分（low frequency：LF）は主に交感神経（一部副交感神経を含む）、0.15Hz以上の高周波数（high frequency：HF）は副交感神経を反映している。
- ・低周波成分と高周波成分の比（LF/HF）は自律神経のバランスを示す。

女性専用外来担当医師紹介



たつた ひとみ
辰田 仁美
総合・漢方外来／毎週水曜日

呼吸器科第二部長
平成2年 和歌山県立医科大学卒業
平成9年 和歌山県立医科大学大学院卒業
資格：日本内科学会認定医・専門医・指導医
日本呼吸器学会認定専門医
労働補償指導医、
日本医師会産業医
ICT (Infection Control Doctor)

昨年度から月1回漢方外来を担当しています。漢方は奥が深く、まだまだ修行中の身です。今後も研鑽を重ねてまいりますので、よろしくお願い致します。



まつもと ともこ
松本 朋子
漢方外来／第1水曜日

リハビリテーション科部長
昭和62年 和歌山県立医科大学卒業
資格：日本リハビリテーション医学会専門医
日本リハビリテーション医学会指導責任者
日本整形外科学会専門医
義肢装具等適合判定医

乳腺外来を担当しています。乳房疾患や健診を診ていますので、よろしくお願ひします。



たなか ゆみ
田中 由美
乳腺外来／第2・3木曜日

呼吸器外科 医師
平成21年 島根大学医学部卒業
資格：マンモグラフィ読影認定医
乳房超音波読影医



やながわ ももよ
柳川 百世
婦人科外来／第2火曜日
(非常勤医師)

柳川レディースクリニック 副院長
昭和57年 大阪医科大学卒業
資格：日本産科婦人科学会認定専門医
母体保護法指定医
マンモグラフィ読影認定医

婦人科外来を月1回担当させていただいています。不定愁訴などにも、できるだけ丁寧に対応していきたいと思っています。



かさの ゆり
笠野 有里
婦人科外来／第4火曜日
(非常勤医師)

かさの医院 院長
昭和63年 近畿大学医学部卒業
資格：日本産科婦人科学会認定医
母体保護法指定医
マンモグラフィ読影認定医

月に1回ですが、婦人科疾患を主に担当しています。少しでも患者さんの不安や疑問が軽くなる手助けができればと思っています。



じんじん みほこ
神人 美報子
漢方外来／第4木曜日
(非常勤医師)

神人クリニックなぐさ耳鼻咽喉科 副院長
平成2年 和歌山県立医科大学卒業

15年前に主人と2人でクリニックを開業し、その少し前から漢方に興味を持って勉強するようになりました。今は自分の体調管理にもとても重宝しているので少しでも患者さんの力になれたらと思っています。去年の夏からろうさい病院的漢方外来を担当させてもらうようになりました。月1回(第4木曜)だけですがよろしくお願ひします。



うら きみこ
浦 希未子
乳腺・肛門外来／第1木曜日
(非常勤医師)

きみこ・クリニック胃腸肛門科 院長
平成6年 和歌山県立医科大学卒業
資格：医学博士

医師であること以外に女性医師として、皆様は何を期待していただいているのか考え続けている、未だ成長途中の女医です。



しみず
清水 ののり
漢方外来／第2・4火曜日
(非常勤医師)

橋本病院 内科医師
平成12年 愛知医科大学卒業
資格：日本内科学会認定内科医・専門医

漢方治療を中心に、女性外来の診療を担当させていただきます。よろしくお願ひいたします。



女性専用外来スタッフ一同
よろしくお願ひします。

第11回 女性医療フォーラム

テーマ

疲労と癒しをかかぐする

日時

9月28日(土)

13:00~17:05

主催

労働者健康福祉機構

主幹

和歌山ろうさい病院

場所

和歌山市民会館 大ホール

和歌山市伝法橋南ノ丁7番地
(南海和歌山市駅の正面出口を出て右に徒歩5分)

入場無料



田中理恵

— 13:00~13:05 —

開会の挨拶

加藤賢朗(労働者健康福祉機構 理事)

— 13:05~14:05 —

第1部 講演『疲労と癒しの医学』

①「女性外来での疲労測定を試み」

辰田仁美(和歌山労災病院 第二呼吸器内科部長)

②「疲労と癒しの脳科学」

仙波恵美子(和歌山県立医科大学医学部 第二解剖学教授)

— 14:10~14:40 —

第2部 特別対談

田中理恵(日本体育大学 児童スポーツ教育学部教員)

体操選手 2012年ロンドンオリンピック出場
2010年ロッテルダム世界選手権にて、
日本人女子として初のエレガンス賞を受賞



辻原 登

— 15:00~16:00 —

第3部 講演『疲労と癒しの文化』

①「いけばなの癒し」

岡田芳和(京都嵯峨芸術大学講師)

②「仏教と癒し」

前田泰道(救世観音宗総本山 西国第二番札所 紀三井寺副住職)

— 16:10~17:00 —

特別講演

「桃源郷とユートピア —熊野蘇生譚をめぐって—」

辻原 登(1990年「村の名前」で第103回芥川賞受賞)

— 17:00~17:05 —

閉会の挨拶

南條輝志男(和歌山労災病院院長)

●12:00~13:30 森のお茶室での呈茶

●12:00~13:30 メディカルチェック「疲労度測定」



ロビーに設置した
「森のお茶室」での呈茶

後援：和歌山県・和歌山市・和歌山県医師会・和歌山市医師会・和歌山県病院協会・和歌山県看護協会

事務局代行

独立行政法人 労働者健康福祉機構
和歌山ろうさい病院 勤労者医療総合センター

〒640-8505 和歌山市木ノ本93-1
TEL.073-451-3181 FAX.073-451-3788
E-mail : joseiforum2013@wakayamah.rofuku.go.jp

看護部長就任メッセージ

地域みなさまはじめまして

和歌山労災病院 看護部長 ^{きたに めくみ} 木谷 恵 と申します。

平成25年4月1日 兵庫県にある関西労災病院から転勤してまいりました。

和歌山労災病院は、とてもきれいで明るく、開放的な病院というハードのすばらしさと、スタッフ個々が和歌山労災病院をとっても大切に思っていること、どうすれば患者さまにとって一番良い医療や看護が提供できるかチームで取り組んでいるところ、災害を想定した新棟建設等様々な取り組みを通して地域に密着した関係性が構築されているように思います。

「個性輝く、魅力溢れる病院」として、地域住民と医療機関に信頼される病院を目指して、看護部は、知識と技術の向上を行い、看護の質を確保できる人材の育成を行っていきたくと考えています。また、私自身、十分に把握できていないこともあり、まだまだ戸惑う事もありますが、1日も早く和歌山の地に慣れ、和歌山労災病院に貢献できるように頑張っていきたいと思っております。

今後共よろしくお願い致します。



看護の日・健康フェスティバル

ナイチンゲールの生誕を記念して、毎年恒例の「看護週間」の行事を開催いたしました。

今年度のテーマは『糖尿病の予防とケア』でした。市民公開講座には100名以上の地域住民のご参加をいただき、糖尿病への関心の高さが伺えました。

今井糖尿病看護認定看護師の「今日からできる糖尿病予防～睡眠と歯磨き～」と森栄養管理室主任管理栄養士による「食事による血糖コントロール～食べ方のコツ～」の講演があり、即実践できるお話でした。また、健康フェスティバルでは、1階エントランスホールにおいて、南條院長出演の医療スペシャル『糖尿病を知ろう』のDVD放映、各種相談（医療・運動・看護・お薬・栄養）や健康チェック体験コーナー（血圧・血糖・体内成分分析・疲労度・骨密度）に20歳代から80歳代まで幅広い年代層の方々にご参加いただきました。糖尿病の理解と健康管理の大切さを再認識され、予防につながるヒントをお持ちかえりいただけたことと思っております。



新任
医師紹介



よしだ ゆういち
吉田 雄一
(脳神経外科)

3月から勤務させていただいております、吉田雄一です。新潟県出身です。よろしくお願いたします。



こう もとひろ
康 根浩
(泌尿器科)

微力ではありますが、患者さん、病院のお役に立ちたいと考えております。



たけなか ゆか
竹中 由夏
(産婦人科)

和歌山県有田市出身の竹中と申します。患者様の声に耳を傾け、患者様に寄り添えるような医療を目指しています。



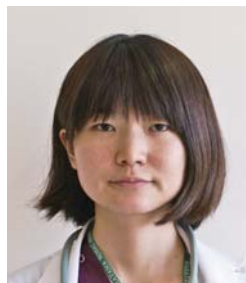
いのうえ まりこ
井上 真理子
(麻酔科)

がんばりますので、よろしくお願いたします。



でくち まさあき
出口 真彰
(外科)

はじめまして、4月に赴任した外科・出口真彰です。御指導、御鞭撻の程、よろしくお願申し上げます。



つだ さや
津田 早耶
(消化器内科)

4月より消化器内科で働くこととなりました。気軽に話しかけてもらえればと思います。よろしくお願いたします。



ふきあげ おさむ
吹上 理
(外科)

海南医療センターから転勤しました。電子カルテの立ち上げに苦労しましたが、こちらでも、もうすぐ電子カルテになるとのことで、ちょっと大変だなあと思っています。



まい お かずひろ
麻殖生 和博
(整形外科)

2年ぶりに再び御世話になります。よりいっそうがんばりますので、よろしくお願申し上げます。



うもと まいこ
宇本 麻衣子
(神経内科)

8月より勤務させていただくこととなりました。生活に密着した診療を心掛けています。よろしくお願いたします。



よしまつ たく
吉松 卓
(呼吸器内科)

いたらない点も多いかと思いますが、ご指導いただければ幸いです。よろしくお願いたします。

『かかりつけ医』のご紹介

和歌山労災病院との「病診連携システム」に参加されている「かかりつけ医」の先生方をシリーズでご紹介しています。

今回、ご紹介する「かかりつけ医」の先生方は、「あなたの町のかかりつけ医」をモットーに地域住民の健康を守るホームドクターとしてご活躍されています。患者様に適切な診療と正確な医療情報を提供し、常に医療サービスの向上と地域医療の発展に貢献されています。

今後、地域住民へ医療を提供する上で、和歌山労災病院にとって欠かすことのできない重要な連携医療機関（パートナー）です。

かさの医院

No.36

- 診療科目 産婦人科 婦人科 内科 外科 小児科
- 住所 〒640-8314 和歌山県和歌山市神前372-1
- 電話 073-471-1197
- F A X 073-471-1127



笠野有里先生は和歌山市神前に「かさの医院」を開業されています。診療は2Fでは院長の笠野有里先生が産婦人科・婦人科・内科を、1Fでは笠野勇先生が外科・内科・小児科を診察され、子宮がんや乳がん検診、不妊健康相談、思春期健康相談など女性にやさしい医療を行われております。

また、平成17年12月より当院の女性専用外来に月1回、婦人科・漢方外来の診療に来て頂き、男性の医師に抵抗を感じる患者さまや更年期障害でお困りの患者さまに漢方薬を含めた診療をおこなっております。

きみこ・クリニック胃腸肛門科

No.37

- 診療科目 外科 胃腸内科 肛門外科 肛門内科
- 住所 〒640-8341 和歌山県和歌山市黒田1丁目1-10
クリニックビル上林2F
- 電話 073-474-2111
- F A X 073-474-3737



「きみこ・クリニック胃腸肛門科」浦希未子先生はJR和歌山駅東口より徒歩1分のクリニックビル上林の2Fにて開業されています。

消化器病の治療やがん検診、健康診断、便が気になる方の相談やおしりの健康相談など各種健康相談も行われています。

また、平成17年3月より当院の女性専用外来に月1回、乳腺・肛門の診療に来て頂いております。

和歌山ろうさい病院 (外来診療科担当医一覧表)

平成 25 年 8 月 1 日現在

診療科	ブロック	診察室	月	火	水	木	金
内 科	A	①番	石亀 昌幸	石亀 昌幸	増井 由毅	石亀 昌幸	当番医
		②番	中尾 隆太郎	増井 由毅	中尾 隆太郎	原田 沙耶	増井 由毅
		③番	-	南條 輝志男	-	-	-
		⑪番	石本 進士	石本 進士	休 診	石本 進士	石本 進士
		⑭番	-	宇本 麻衣子		宇本 麻衣子	-
		⑩番	阪口 臨	第1・3・5週 阪口 臨	休 診	阪口 臨 (午後)	阪口 臨
		⑤番	細 隆信	細 隆信	藤田 篤代	細 隆信	庄野 剛史
		⑥番	辰田 仁美	庄野 剛史	吉松 卓	辰田 仁美	吉松 卓
		⑧番	大河内 啓史	当番医	林 泰	当番医	九鬼 新太郎
		⑨番	林 泰 【新患診】	-	西尾 はるひ	-	当番医
		⑫番	寺田 友昭	新谷 亜紀	寺田 友昭	当番医	岡田 秀雄
		⑬番	岡田 秀雄	吉田 雄一	新谷 亜紀	-	河野 健一
		⑭番	戸村 九月	-	吉村 良	-	田中 優子
		救急待機	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医
③番	-	前部屋 進自 (呼吸器外科・乳腺外来)	-	田中 由美 (呼吸器外科・乳腺外来)	前部屋 進自		
女性専用外来 (完全予約制)	A D	午後 【予約制】	-	第2週 婦人科外来 柳川 百世	第1・2・3・4週 総合(漢方)外来 辰田 仁美	第1週 乳腺・肛門外来 浦 希未子	-
		A⑦番	-	第4週 婦人科外来 笠野 有里	第1週 漢方外来 松本 朋子	第2・3・5週 乳腺外来 田中 由美	-
		D⑫番	-	第2・4週 漢方外来 清水 みのり	-	第4週 漢方外来 神人 美穂子	-
消化器内科	B	⑪番	安田 祐子	原 猛	原 猛	原 猛	安田 祐子
		⑫番	津田 早耶	安田 祐子	津田 早耶	内視鏡センター診 垣本 哲宏	垣本 哲宏
		⑬番	-	-	-	-	-
外 科	B	⑦番	小林 康人	吹上 理	吹上 理	肝・胆・膵 小林 康人	上部消化管 山本 基
		⑧番	山本 基	寺澤 宏	那須 亨	那須 亨	寺澤 宏
		⑨番	-	-	-	出口 真彰	-
整形外科	B	⑩番	-	-	-	緩和ケア・NST外来(寺澤) ストーマ外来 (予約制)	-
		①番	玉井 英伸	-	-	-	-
		③番	佐々木 俊二	脊椎センター診 安藤 宗治	手外科診 峠 康	スポーツ整形診 佐々木 俊二	安藤 宗治
小 児 科	C	④番	麻殖生 和博	坂田 亮介	松本 卓二	峠 康	関節リウマチ診 坂田 亮介
		⑤番	当番医	麻殖生 和博	福井 大輔	福井 大輔	松本 卓二
		⑥番	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医
泌尿器科	C	⑨番	青柳 憲幸	檜皮谷 朋子	青柳 憲幸	青柳 憲幸	檜皮谷 朋子
		⑩番	大元 浩明	小森 有紀	檜皮谷 朋子	大元 浩明	小森 有紀
		特診⑨	小森 有紀	-	大元 浩明	青柳 憲幸	宮代 英吉 【再診のみ】
耳鼻咽喉科	C	特診⑩	大元 浩明	青柳 【予防接種】	檜皮谷 朋子	1・3週 心エコー 根来 博之	-
		①番	上門 康成	森 喬史	休 診	上門 康成	休 診
		②番	康 根浩	康 根浩	-	森 喬史	-
皮膚科	D	⑤番	横山 道明	-	森山 智美	横山 道明	小上 真史
		⑥番	小上 真史	-	当番医	森山 智美	当番医
		⑦番	-	-	-	-	-
産婦人科	D	午後 予約	-	休 診	-	第1・3週 睡眠時無呼吸外来 当番医	-
		①番	中村 智之	当番医	中村 智之	丸山 希実子	中村 智之
		②番	下松 達哉	当番医	下松 達哉	下松 達哉	丸山 希実子
眼 科	D	午後 予約	-	-	学童外来 中村 智之	-	-
		⑩番	-	当番医	-	当番医	-
		⑫番	矢本 希夫	助産外来 (予約制)	矢本 希夫	助産外来 (予約制)	尾谷 功
リハビリ科	D	⑬番	谷本 敏	尾谷 功	竹中 由夏	谷本 敏	竹中 由夏
		午後 予約	-	-	-	-	-
		⑤番	大川 記羊美	大川 記羊美	大川 記羊美	大川 記羊美	大川 記羊美
放射線科	D	⑥番	当番医	当番医	当番医	休 診	当番医
		午後 予約	-	-	-	-	第1・3・5週 コンタクト(予約制)
		①診	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子
専門外来	健診センター 【予約制】	1診	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸
		2診	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健
		健診センター 【予約制】	禁煙外来 庄野 剛史	-	-	禁煙外来 庄野 剛史	肥満外来 石亀 昌幸

- (注1)
 1.小児科の午後は、予約者を対象に専門外来を行っています。
 2.耳鼻いんこう科の毎週火曜日、泌尿器科の水曜・金曜日、眼科の木曜日は手術のため休診です。
 3.母親教室は、毎週木曜日 14時～16時です。(予約制)
 4.助産外来は、毎週火曜・木曜日 9時～15時です。(予約制)
 5.耳鼻いんこう科の木曜日の午後の診察時間は、13時～15時となっております。
 6.糖尿病教室は、平日月曜日～金曜日に開催しております。詳細については内科外来にお問合せください。
 7.女性外来・専門外来は、完全予約制となっております。
 お申込みは、勤労者医療総合センター直通番号(451-3303)までお申込みください。
 8.各診療科の専門外来については、病院代表番号(451-3181)を通じて各専門外来へお問合せください。

- (注2)
 1.セカンドオピニオン外来の詳細については、患者サポートセンター
 地域医療連携室(451-3181内線3128)までお問合せください。
 2.■は、手術日をあらわしています。

※紹介状をお持ちの際は、必ず診療予約をして頂きますようお願いいたします。
 《診療予約をせずにご来院されますと、担当医師が対応できない場合があります、また対応可能な場合でも、待ち時間がかなり発生いたしますので、前もっての診療予約をお願いいたします》
【予約専用電話】 073-451-3186